山梨県立中央病院
小児科専門研修プログラム

目指せ！子どもの総合医。

急性期疾患　重傷新生児高度医療　連携施設研修

特徴

山梨県立中央病院小児科専門研修プログラムによる専攻医を、新たに 2020 年度から募集します。募集人数は 2 名で、当院を中心に山梨県内で偏ることなく小児疾患全般の研修が可能です。
当院の小児科、新生児内科での研修を中心に山梨大学医学部小児科とも密に連携したプログラムで、この 2 病院に加えて山梨県内の地域連携施設での研修も行います。各病院の特徴を活かして偏ることなく小児疾患全般の研修が可能であり、体とともに心や家族、社会的背景も含めてその子ども全体を診療するという小児科医としての基本技能を 3 年間で身につけることを目指します。

［プログラム責任者］

星合美奈子
小児科専門医研修プログラム統括責任者

2020 年度から新たに 2 名の小児科専攻医を募集します。当院は山梨県の中核病院であり、小児科は新規入院患者数年間約 700 名と急性期疾患を中心に多くの症例を診療しています。新生児内科は総合周産期母子医療センターを担っており、超未熟児を含めた重症新生児の高度医療にあたっています。山梨大学医学部小児科を中心とした連携施設研修を含めた3年間の専門研修により、小児科専門医として必要な考え方や技術を獲得できます。是非、私たちと一緒に頑張りましょう。

YAMANASHI PREFECTURAL HOSPITAL WILL SPECIALIST

山梨県立中央病院
整形外科地域専門研修プログラム

外傷のスペシャリストを目指して

多くの症例を執刀　リハビリテーション治療へ　豊富な外傷症例

特徴

整形外科の分野は幅広く、慢性運動器疾患やスポーツ障害・外傷および労働災害や交通事故によって発生する運動器疾患に関して、診断、治療ならびにリハビリテーションなどを適切なタイミングで実行する必要があります。その中で患者さんの回復（未来）を最大限引き出せるような治療介入ができる整形外科医の育成を目指しています。

［プログラム責任者］

佐久間陸友
整形外科地域専門研修プログラム統括責任者

当院の整形外科は医師 10 名（日本整形外科学会専門医 4 名）の体制で、整形外科のほぼ全分野に対応しています。専門医を目指す若手整形外科医が多く勤務しており、同年代でディスカッションし切磋琢磨できる環境が整っています。年間の手術件数は約 1100 件、3次救急を扱う高度救命救急センターがあるため外傷患者が多く、上級医の指導のもと多くの手術症例を経験することができます。

YAMANASHI PREFECTURAL HOSPITAL WILL SPECIALIST

山梨県立北病院 精神科専門研修プログラム

精神科医療基幹的病院　地域医療実践の場　リサーチマインド

急性期から慢性期、児童思春期から認知症例まで、精神科医として経験すべき精神障害が網羅されています。

特徴

北病院は、精神科医として第一歩を踏み出そうとしている若いドクターの皆さんにはうってつけの病院です。受診する患者さんは、急性期から慢性期、児童思春期から認知症例まで、精神科医として経験すべき精神障害が網羅されています。山梨県精神科医療の基幹的な病院でありながら、地域医療の実践の場となっているのが当院の特徴です。研修では、オーベンネーベン制や通称「交換日記」と呼ばれる担当指導医からのきめ細かい指導が特徴です。指定医症例を無理なく経験でき、症例発表会でプレゼン力を磨き、リサーチマインドを高める指導も充実しています。

［プログラム責任者］

宮田量治
精神科専門医研修プログラム統括責任者

北病院の研修では、bio-psycho-social な視点から、多職種スタッフとともに、治療に難渋する患者さんの回復への道を試行錯誤する過程も体験しながら、精神科医としての知識・対応力を身につけていきます。精神科の高度治療（mECT, クロザピン投与体制）にも積極的に取り組んでいます。予備知識ゼロからでもスタート可能！　よき精神科臨床医を目指す専攻医の皆さんのお力になりたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

精神科専門医研修プログラム　研修スケジュール

年次	前期	後期
1年目	オーベンネーベン制による指導（4～6ヶ月）	統合失調症、気分障害、認知症などの基本的な精神障害の研修
2年目	統合失調症、気分障害、認知症などの基本的な精神障害の研修	児童／司法／パーソナリティ障害を含む精神障害の研修
3年目	6ヶ月の総合病院等による研修（2、ないし、3年目に実施）	